

ユネスコ WG の活動報告について

世界ジオパークネットワークの活動が、2015年（平成27年）11月17日にユネスコの正式プログラムとなり、ユネスコジオパークとしての責務とジオパーク後進地域への支援を含めたネットワークへの貢献が強く求められるようになった。この正式事業化を受け、ユネスコ認定8地域とユネスコジオパークを目指す伊豆半島ジオパーク、ユネスコ正式事業化誕生フォーラムを開催する白山手取川ジオパークの計10地域の事務局長を中心とした、ユネスコWGを立ち上げ、①ユネスコの正式事業化に伴うガイドライン等の変更内容についての情報収集、②ユネスコジオパークとしての活動内容検討、③ユネスコ正式事業化をきっかけとしたジオパーク活動のPR等についての企画・検討とイベントの実施を行ってきた。

具体的な実施事業としては次の通り。

1. 世界ジオパークのユネスコ正式事業化にかかる記者発表

平成27年11月19日（木） 文部科学省記者会見室



2. ユネスコジオパーク誕生フォーラム

平成28年1月23日（土） 白山手取川ジオパーク



シンポジウムの様子
（壇上は Patrick McKeever 氏）

3. ユネスコ世界ジオパーク記念キャンペーン

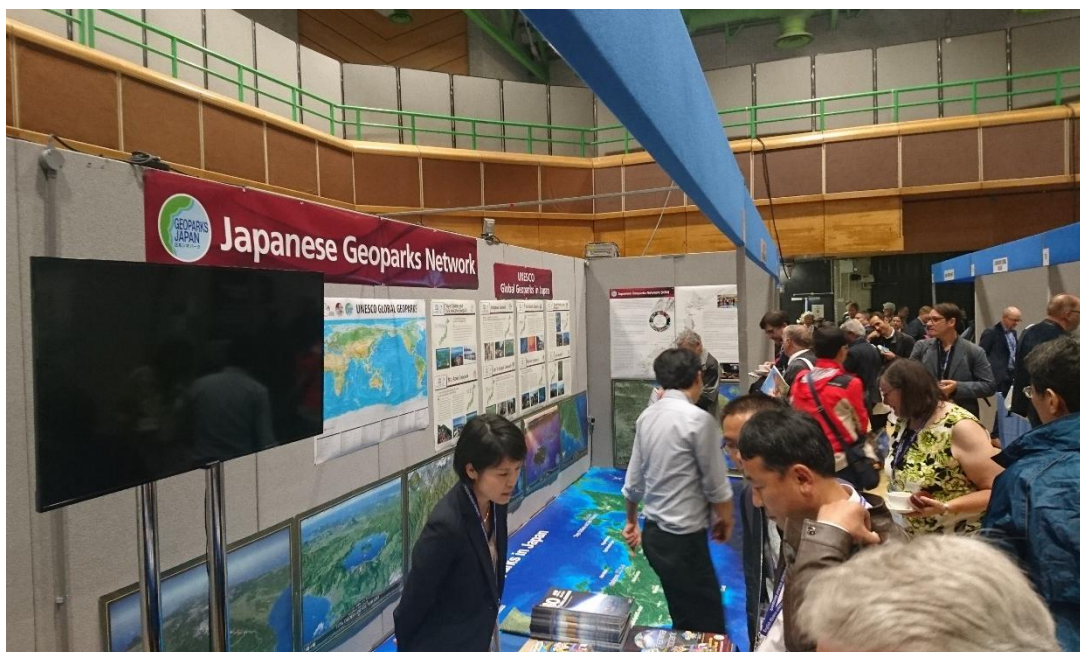
ユネスコ世界ジオパーク道府県応援団主催により東京国際フォーラムロビーギャラリーで開催



4. 第7回ユネスコ世界ジオパーク国際会議における共同ブース出展

イギリスイングリッシュユビエラユネスコ世界ジオパークで開催された第7回ユネスコ世界ジオパーク国際会議において、ユネスコジオパーク認定8地域とODA事業チームの共同ブースを出展した。

これまで、個別でのブース出展や第6回大会での共同出展も2ブース程度であったが、今回は4ブース程確保し、日本ジオパーク地域の床地図やユネスコ世界ジオパークの位置図、認定8地域の紹介パネルを設置するとともに、JGN活動についての紹介パネルを設置した。外観的にも来場者の興味を引くものになり、来場者から好評を得ることができた。



以上、ユネスコ WG としての事業を実施してきたが、当初の目的を達成したため 10 月 9 日の運営会議における事業報告をもって WG を発展的に解散し、今後、国際化 WG との協議により新たな WG を立ち上げることにする。